

歴史、長崎に残さねば

「どうしてこんなものが…」。昨年12月、被爆者の長崎平和推進協会の写真資料調査部会の堀田武弘さん(80)＝西彼長与町＝が自宅のパソコンを

操作する手が思わず止まつた。ネットオークショ  
ンに「長崎刑務所浦上刑

浦上刑務支所の写真発見

被爆  
ナガ  
76年

務支所などが写した絵はがき数点が出品されていたのだ。

帶法で写眞の撮影が制限されていたにもかかわらず、被爆前の浦上地区の様子が写っていると気が付いた。「原爆投下以降と以前の歴史を、長崎に残していくなければいけない」と思い、落札した。

概要一。写真下には、当時の名称で「長崎刑務所浦上支所」と記されている。長崎市被爆継承課の岡野正太郎学芸員(36)は、看守や受刑者が写つていらない。内装が新しく見える。建築費や竣工日などの詳細が記されている。

△脱獄防止などセキュリティー上の理由で一般的に内部の写真は表に出ない



門 表 斯 支 上 浦 所 務 犯 時 間  
浦上刑務支所の表門（堀田さん提供）

## 被爆者の堀田さん ネットで絵はがき落札

建築費など浦上刑務所の建築概要が記されたカード

134人が犠牲になつた。  
(酒井環)

文部省内の教誨堂  
(堀田さん提供)

支所を含む浦上地区の俯瞰写真のほか、▽浦上町